

浜坂町久斗山のゼフィルス記録

永幡嘉之

浜坂町久斗山周辺には標高500～600m級の山々が連なり、ブナが広く分布するなど、植生面ではおもしろい所である。この山にどのようなゼフィルスがいるのか、以前から興味を持っていたが、1993年6月に登る機会があったので、断片的な記録ではあるが報告したい。

25-VI-1993 美方郡浜坂町本谷 永幡嘉之

アカシジミ *Japonica lutea* 1 ex. クリ花、飛翔中
 ウラクロシジミ *Iratsume orsedice* 2♀♀ マンサクは多く、本種も少なくない。
 ヒサマツミドリシジミ *Chrysozephyrus hisamatsusanus* 1♂ 活動中の1個体のみ。
 ジョウザンミドリシジミ *Favonius taxila* 3♂♂3♀♀ 稜線上のクリの花に集まっていた。
 ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* 2 exs. 目撃。採集はできなかった。

今回はヒサマツミドリシジミの採集を主目的としたが、中腹で1頭発見したにとどまった。また、フジミドリシジミも採集することができなかった。しかし、ジョウザンミドリシジミなどは個体数が少なくないので、他の山地性ゼフィルス、例えばアイノミドリやエゾミドリも調査すれば発見できるのではないかと思う。中腹のクリの花では、叩くたびにゼフィルスの影が飛び出したが、ほとんど採集できていない。今後の採集が楽しみである。クリのほかにイソノキも花をつけていたが、こちらにはどの種も飛来していないようだった。